



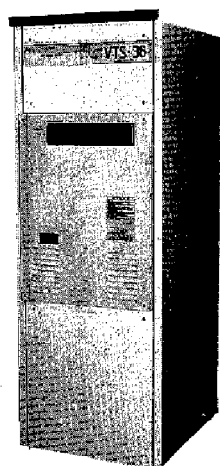
大阪ガス

ガス温水ヒータ (TANK & HEATER)

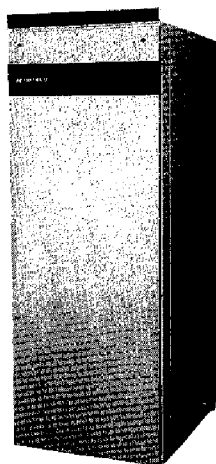
取扱説明書 33-337-33-338

保証書付

型式 F33-03・F33R03



33-338
[屋外設置型]



33-337
[屋内設置型]

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があれば販売店もしくは弊社にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、ガス温水ヒータ(TANK & HEATER)を
お求めいただきありがとうございました。

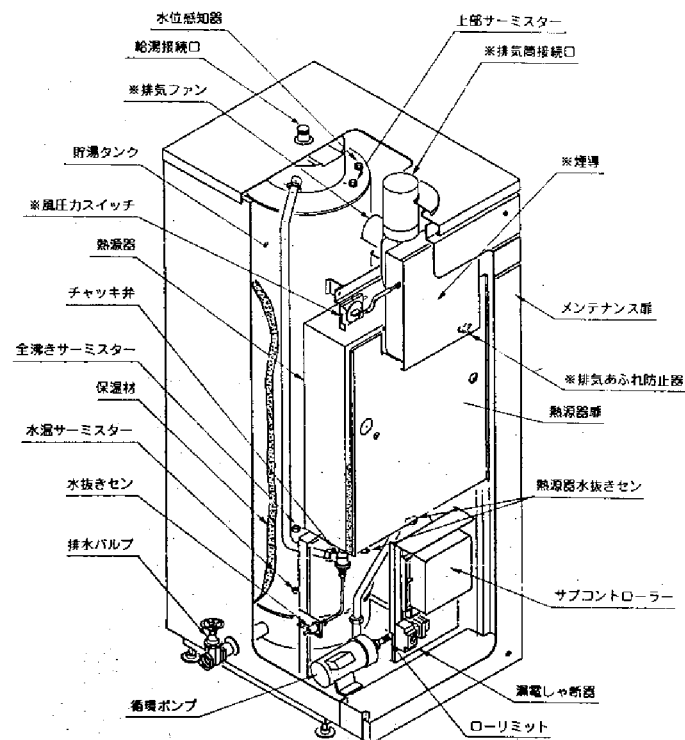
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に
保存してください。

もくじ

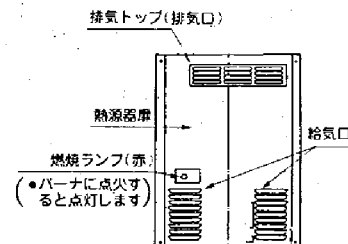
●各部の名称	2~3
●特に注意していただきたいこと	4~6
●器具の設置	7
●使用手順	8~11
●日常の点検・手入れ	12~13
●長期間使用しない場合	13
●故障・異常の見分け方と処置方法	14
●アフターサービスのお申し込み	15~16
●仕様一覧表	17
●特長	18

各部の名称

(1) 33-337



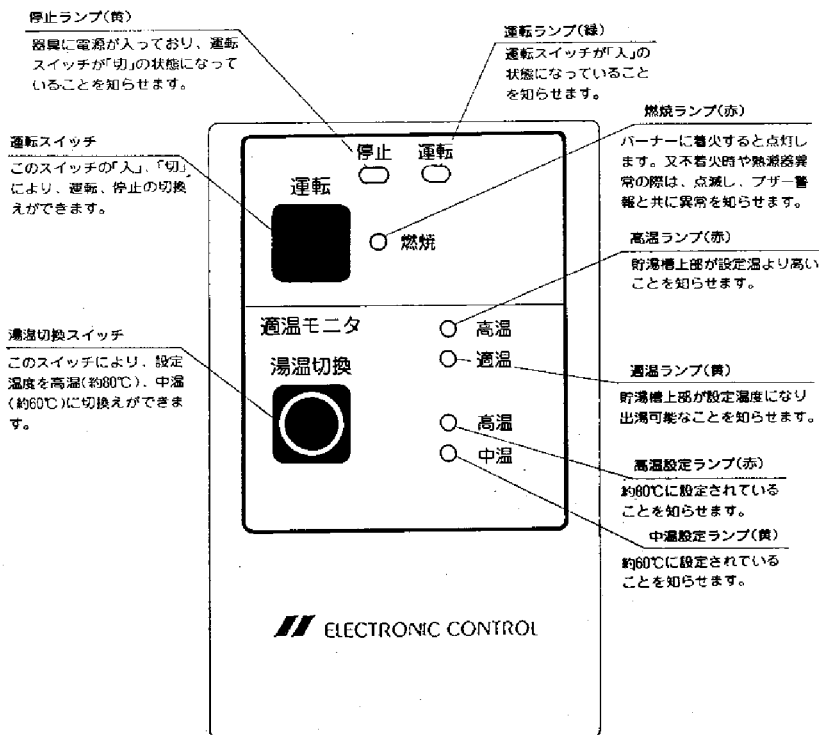
- 33-338は、強排ファン、煙導等(※印部)がなくなり、排気は正面噴出しとなります。
- 正面から見ると熱源器は右図のようになります。



各部の名称 ②

(2) 操作盤

操作盤には、下記のスイッチやランプがありますので、その名称と働きをごらんになって正しく操作してください。



特に注意していただきたいこと

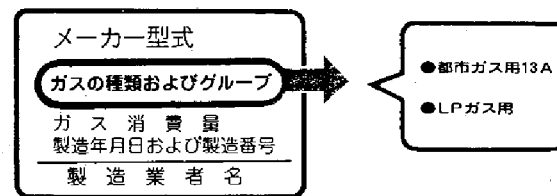
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

(銘板)



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

使用水についてのご注意

- 器具にご使用になる水は、必ず水道水をお使いください。万一ほかの水をご使用になる場合は、水道水に準じた軟水をお使いください。
(但し、純水をご使用になる場合は、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。)

特に注意していただきたいこと②

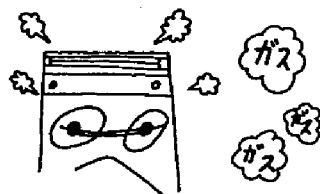
〈ご注意〉硬水でお使いになりますと、腐食やつまりの原因になりますので、保証の対象にはなりません。

使用場所についてのご注意

- 器具には屋外設置型と屋内設置型とがあります。別冊の工事説明書「使用場所についてのご注意」の項をお読みください。

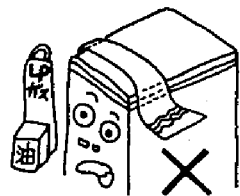
ガス漏れ予防

- 使用中にガスのにおいや、不快なおいがしていないか時々確かめてください。
- 使用後は必ず運転スイッチを切り、運転ランプ、燃焼ランプが消灯し、停止ランプが点灯することをお確かめください。



火災予防

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。



火傷のご注意

- 器具の使用におよび使用直後は、排気トップや排気筒が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

換気のご注意

- お部屋の換気口(給気口・換気口)は物などでふさがないでください。



特に注意していただきたいこと③

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐにご使用を中止(運転スイッチ「切」、ガス元セン閉止)し、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

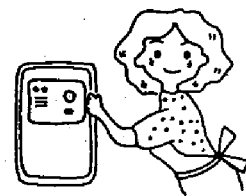
凍結についてのご注意

- このヒーターは、冬期の凍結による缶体破損予防のため保護装置が内蔵されています。冬期には、この保護装置が作動できるように元電源は常時「入」の状態にしてください。(運転スイッチは「切」の状態でも凍結保護装置は作動します)器具内、循環ラインの水温が約4℃以下になると自動的に循環ポンプが運転し、器具本体の凍結を予防します。一旦循環ポンプの運転がはじまると、循環ラインの水温が約15℃になるまで止まりません。
- 給水給湯配管が凍結した場合の処置方法は、11ページをお読みください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、すぐにご使用を中止(運転スイッチを「切」、ガス元センを閉止)して十分な点検をお願いします。

故障・異常の見分け方と処置方法については14ページをお読みください。



日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。
- (点検・手入れの方法については、12ページをお読みください。)

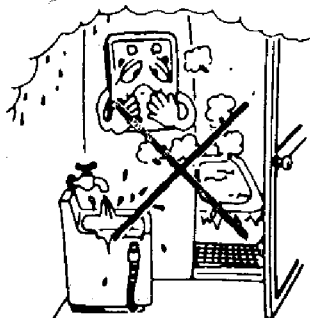
器具の設置

器具の設置について

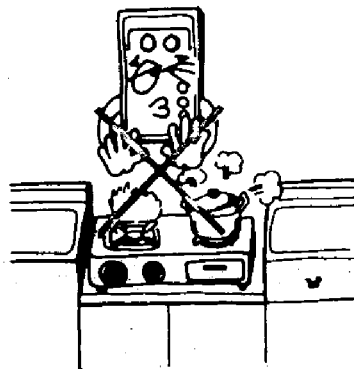
- 設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので、十分配慮して設置して下さい。
- 器具を安全、快適にお使いいただくために、専門の工事業者におまかせするだけでなく、器具が正しく設置されているか、どうか、お客様自身でもお確かめください。
(器具の設置については別冊の工事説明書をお読みください。)

操作盤の設置について

- 操作盤は湯気、湿気のないところに設置してください。



- 操作盤はガスコンロなど燃焼器具に接近する場所への設置は、おさけください。



- 操作盤は屋外に取付けないでください。

使用手順

はじめてお使いのとき

- ①給水元センを開いてください。
- ②給湯センを開いてください。
〈ご注意〉給湯センから水の出ることを確かめてください。
- ③操作盤の運転スイッチが「切」になっていることを確かめてください。
- ④電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。

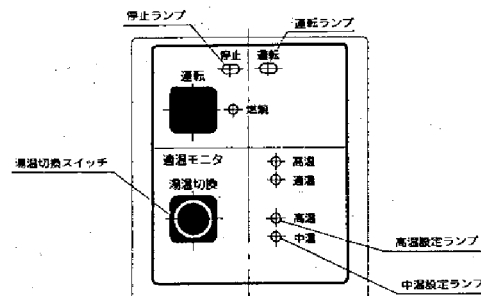
点火前の準備と確認

- ①ガス元センを全開にしてください。
- ②操作盤の停止ランプが点灯(運転ランプが消灯状態)しているのを確かめてください。点灯していない場合は、元電源がOFF状態となっているため、元電源を入れてください。

湯温設定

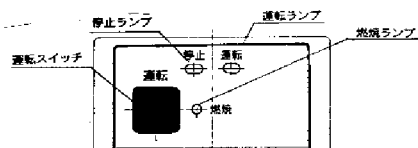
操作盤の「湯温切換スイッチ」で、ご希望の温度に湯温設定してください。
「高温」で約80℃、「中温」で約60℃となります。

〈ご注意〉器具が運転中の時は、貯湯槽内の湯温むらが生じますので、湯温設定の変更はしないでください。



点 火 (運転)

運転スイッチを「入」にして、運転ランプが点灯し、停止ランプが消灯するのを確かめてください。約25秒後に燃焼ランプが点灯します。

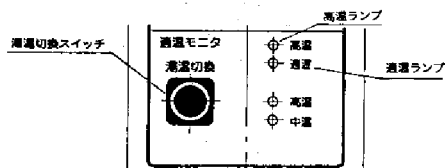


〈ご注意〉

- ①運転スイッチを「入」にしても貯湯槽内が沸き上がり状態の時は、燃焼ランプは点灯しません。この場合は給湯センから所定量のお湯を出すと湯温検出器が貯湯槽内の湯温の低下を検出し、約25秒後に燃焼ランプが点灯します。

(夏期のように気温が高い場合は、前日に沸したお湯の温度があまり下がらないため運転スイッチを入れてもすぐに燃焼しない場合があります。)

- ②貯湯槽内の上部が、設定温度になると、操作盤の「適温ランプ」が点灯し、給湯可能をお知らせします。又、運転中に操作盤の湯温設定を「高温」から「中温」に切替えた場合は、操作盤の「高温ランプ」が点灯し、給湯温度が設定した温度より高い事をお知らせします。

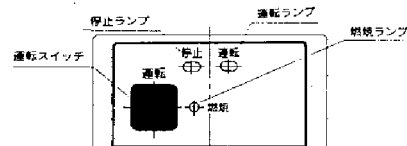


(長時間お湯を使用しなかった場合には、操作盤の「燃焼ランプ」も「適温ランプ」も点灯しない事がありますが、故障ではありません。)

貯湯槽内が沸き上がりの状態になりましたら自動的に燃焼ランプが消灯します。
 〈ご注意〉もし、ブザーが鳴ったときは、一旦運転スイッチを「切」にし、約5秒間まって、再度、運転スイッチを「入」にしてください。数回くり返してもブザーが鳴る場合は、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

消 火 (停止)

運転スイッチを「切」にし、運転ランプと燃焼ランプが消灯し、停止ランプが点灯することを確認してください。



停電時の処置

ご使用中に停電になったときは、自動的に運転がとまりますので、危険はありません。通電されると自動的に運転を始めます。

〈ご注意〉再通電された場合、湯温設定は、自動的に「中温」設定となりますので、ご希望の温度に設定しなおして下さい。

断水時の処置

- 断水に気付いたときは、給湯センを閉じ、操作盤の運転スイッチを「切」にして、運転ランプが消灯し停止ランプが点灯することを確認してください。
- 再使用するときは、給湯センを開いていきおいよく水が出ることを必ず確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

厳寒時の注意

- 厳寒期には、使用前に逃し弁のレバーを引き上げ、吐出口から水が出ることを確認してください。

冬期の凍結による破損防止について

この器具には、凍結保護機能が付いていますが、給水・給湯配管内の凍結予防はできませんので、事前に凍結予防を考慮した十分な保温工事が必要です。

特に寒い夜などには次の処置をして凍結を予防してください。

①給湯センから水を流す方法(一般的な凍結防止方法)

運転スイッチを「切」にして、給湯センを少し開き1分間に牛乳びん1本(200cc)以上、寒い日は、多い目に水を流してください。

流量が不安定なことがありますので、30分ぐらい後に流量を確認してください。

②器具の水を抜く方法(ただし、この方法では給水配管の凍結予防はできません。)

13ページの「長期間使用しない場合」の項にしたがって水を抜いてください。

凍結した時の注意

- 凍結したままでお使いになりますと、危険ですので絶対に使用しないでください。

〈ご注意〉運転スイッチが「切」になっていることを、確かめてください。

- 給水元セン、ガス元センをとじてください。

- 凍結が解けた後、再度お使いになるときは、次の手順でおこなってください。

①給水元センを開いてください。

②給湯センを開いてください。

③給湯センから水の出ることを確かめてから、給湯センをとじてください。

④器具、配管などに、水漏れがないことを確かめてください。

〈ご注意〉水漏れが、発見された場合、給水元センをとじ、水漏れ修理が済むまで使用しないでください。

⑤ガス元センを全開にしてください。

⑥8ページの使用手順にしたがって、お使いください。

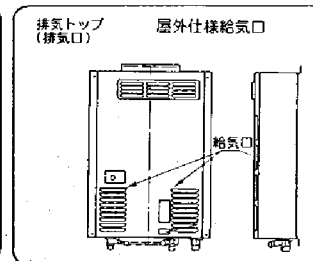
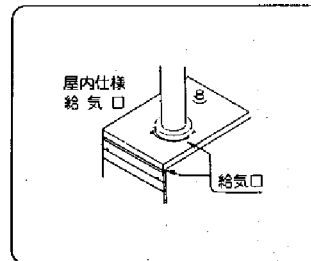
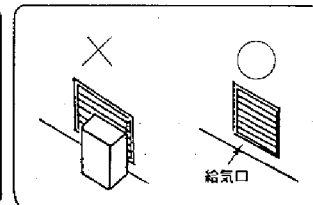
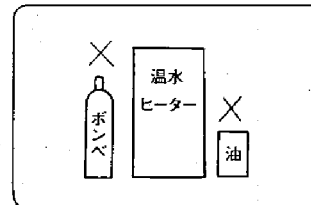
日常の点検・手入れ

器具を安全に、快適にご使用いただくために必ず「日常の点検・手入れ」をしてください。

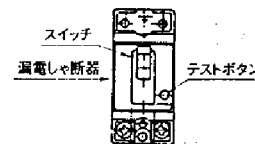
「日常の点検・手入れ」の際には、運転スイッチを「切」にして、器具が十分に冷えてからおこなってください。

点 検

- 器具の周辺にダンボール箱などの燃えやすいものは置いていませんか？
- 器具の給気口にちりやほこりがたまっていませんか？
- ヒータ室の給気口・換気口にちりやほこりがたまっていませんか？
又、給気口をふさいでしまうような物が置いてありませんか？



- 元電源が入っている状態で漏電しゃ断器のテストボタンを押すと、スイッチは「切」になりますか？



漏電しゃ断器は、屋内仕様では、正面のメンテナンス扉、屋外仕様では正面一番下の扉を外すと、器具の右下部にあります。

お手入れ

- 器具、給気口のちりやほこりは、きれいにふきとってください。
給気口にちりやほこりがつまりすぎますと不燃焼の原因になります。
- 器具の上や、近くに置いてあるものは、取除いてください。不燃焼の原因や、火災の原因になります。
- 漏電しゃ断器は、しゃ断器のスイッチを「入」にしたままで、テストボタンを押し、スイッチが「切」になるのを確かめてください。(月に1~2回)
- 排気筒や排気トップが変形したり、破損していると、酸欠中毒や器具故障の原因になりますので修理がすんでからご使用ください。

定期点検について

- 器具は、ご使用に支障がなくても、1年に2回位、バーナーや各部の作動が正常かどうか点検するのが安全に長期間ご使用いただくための秘訣です。大阪ガスには、定期点検のための保守契約制度がありますので、ぜひご利用ください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、器具の水抜きをしてください。
 - ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ②ガス元セン、給水元センを開けてください。
 - ③すべての給湯センを開いてください。
 - ④器具の排水バルブ、水抜きセンを開いて水抜きをしてください。(2ページの図)
 - ⑤水がある程度抜けたら、念のために、熱源器の水抜きセンを開いてください。(2ページの図をご参照ください。)
- 再度水を入れる場合は、水抜きセン排水バルブが閉じている事を確認してください。

故障、異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 原因	火元センが 動作しない	火元センが 動作する	運転ランプも停止 ランプも点灯しない	湯も水も出ない	湯は出るがぬるい	沸き上がりが遅い	燃焼ランプが 点滅する	燃焼ランプが 点滅しない	処置方法	処置者 お客さま 販売店・弊社
ガス元センの開き不十分	○	○			○	○	○		運転スイッチを一旦「切」にしてから全開にする	○
ガス元センが開いていない		○			○	○	○		点検・修理を依頼する	○
供給ガス圧が低い	○	○			○	○	○		11ページの凍結した時の処置の項にしたがってください	○
ガス配管中に水が入っている	○	○			○	○	○		使用を一旦中止する	○
給水、給湯配管が凍結している				○					元電源を「入」にする	○
断水している				○					点検・修理を依頼する	○
停電している		○	○						給水センを全開にする	○
元電源が「切」になっている		○	○						給水・給湯センを開き水を入れる	○
漏電しゃ断器が作動		○	○						点検・修理を依頼する	○
ヒューズが切れている		○	○						給湯の出すぎ	○
給水元センの開き不十分				○					熱源器の異常	○
器具に水が入っていない		○		○					タンクサーミスター断線	○
									バーナコントロール異常	○
									ポンプ不良	○
屋内用	強排ファン不良	○	○					○	点検・修理を依頼する	○
	あふれ防止器作動	○						○		
	風圧力スイッチ不良	○						○		

アフターサービスのお申し込み

- 14ページの「故障、異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品 名 …… (ガス温水ヒータ)
- (2) 型 式 …… 器具右側面に貼ってある銘板をごらんください。

ガス温水ヒータ

型	式	F36R03
設	置	方 式
都	市	ガ ス 用

- (3) 現 象 …… (できるだけ詳しく)
- (4) 道 順 …… (できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、販売店もしくは、ガス供給業者にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。

このガス温水ヒータは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

アフターサービスのお申し込み②

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理致します。なお、メーカーは、販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給します。
 - 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。
- ※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様一覧表

項目		33-337	33-338
設置方式		屋内設置型	屋外設置型
出力(Kcal/h)		最小4,500～最大36,000	
最高使用水頭圧		10mH ₂ O	
貯湯量	全容量	140ℓ	
	沸き上がり有効量	115ℓ	
伝熱面積		1.27㎡	
ボイラ効率		78～80%	
点火方式		連続放電点火方式(ダイレクト点火)	
最大ガス消費量	13A	45,000kcal/h	
	LPG	3.75kg/h	
消費電力		220W	170W
運転時重量		231kg	222kg
沸き上がり時間(65deg上昇時)		15.5分	
有効出湯量(65deg上昇時)		15ℓ/分出湯で250ℓ	
接続	① ガス	20A(PT3/4)メネジ	
	② 給水	25A(PT1) オネジ	
	③ 給湯	25A(PT1) オネジ	
	④ 排水	25A(PT1) メネジ	
	⑤ 水抜き	外径φ12mm 内径φ7.5mm	
	⑥ 電源	AC100V 60Hz	
	⑦ 排気筒	φ100mm	——
寸法	本体奥行	681mm	601mm
	本体幅	514mm	
	本体高さ	1465mm	
湯温調節		高温(約80℃)、中温(約60℃)、2段階切換	
安全装置	バーナ安全装置	炎整流式(フレームロット方式)	
	漏電しゃ断装置	漏電しゃ断器(15mA)	
	空焚防止装置	水位感知器(電極棒による流電方式)、水量センサー	
	ハイリミットスイッチ	バイメタル式(105℃ OFF)	
	器体過熱防止装置	温度ヒューズ(129℃ OFF)	
排気あふれ防止装置		バイメタル式(95℃ OFF)	——
減圧逆止弁設定圧力		0.7kg/cm ²	
付属品		操作盤、取扱説明書、工事説明書 保証書	
備考		最大ガス消費量及び最大出力は、 標準ガス圧、水温5℃、上昇温 75deg時の値を示します。	

特長

- 1 常時貯湯槽上部から設定温度のお湯を貯湯するためすぐにご使用できます。
- 2 別売の減圧逆止弁、安全弁を使用することにより水道直結が可能です。
- 3 スリム型貯湯槽と小型瞬間湯沸器の一体化により、設置スペースが、従来型(ストレージタンク並設時)より約20%減少し、設置工事も簡単になります。
- 4 CFバーナにより、騒音レベルが従来型より低くなりました。(騒音値48～52ホーンAレンジ)
- 5 貯湯槽はステンレス(SUS 316)、熱源器、循環ラインは、銅管(リン脱酸銅管)を使用しているため、赤水の発生がありません。
- 6 操作盤への配線は、無極性2芯方式の採用により、誤配線を防止しています。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社営業部	☎541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大阪 06 (202)2221
特需営業センター	☎550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎大阪 06 (652)0001
南支社	☎557	大阪市西成区玉出東2丁目8番41号	☎大阪 06 (652)0001
北支社	☎532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301)1251
南部支社	☎580	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722(38)1131
北阪支社	☎568	高槻市藤の里3-9番6号	☎高槻 0728(71)0361
阪神支社	☎662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3104
東部支社	☎578	東大阪市福森2丁目3番17号	☎河内 0728(62)1131
京阪支社	☎573	枚方市西田宮町1-6番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	☎650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	☎604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0782(86)2221
東播支社	☎675	加古川市加古川町箕津2-9-1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湘南支社	☎625	草津市追分町字荒砥680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	☎622	彦根市大東町9番41号	☎彦根 0749(22)3131
長浜営業所	☎526	長浜市南興町町3番4号	☎長浜 07493(2)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社